

柳之御所遺跡

—堀内部地区内容確認調査—

図版編



2018

岩手県教育委員会

岩手県文化財調査報告書第154集
平泉遺跡群発掘調査報告書

柳之御所遺跡

—堀内部地区内容確認調査—

図版編



2018年3月

岩手県教育委員会

序

柳之御所遺跡は、平安時代末期の約100年間にわたり北方の王者として繁栄を誇った奥州藤原氏の残した遺跡で、特別史跡中尊寺境内、特別史跡毛越寺境内附鎮守社跡、特別史跡無量光院跡などの文化財と並び、当時の平泉の核をなしていた遺跡の一つです。

本遺跡は、昭和63年から（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、平泉町教育委員会が実施した一級河川北上川上流改修一閑遊水地事業及び国道4号改修平泉バイパス建設事業に伴う緊急発掘調査により、大規模な掘立柱建物跡・園池跡・堀跡などが確認され、また、膨大な量のかわけや木製品など、質・量ともに卓越した遺物が出土いたしました。これらの豊富な遺構・遺物により、本遺跡が『吾妻鏡』に記された「平泉館」であることが指摘されています。

このような経過のなかで、遺跡に対する建設省（現国土交通省）のご理解により、平成5年には遺跡の保存が決定し、平成9年3月に『柳之御所遺跡』として国の史跡に指定されました。県では、本遺跡が国民共有の貴重な財産であるとの認識から、史跡公園として整備して後世に伝えとともに、広く活用していきたいと考え、平成10年度から史跡整備に向けた発掘調査を実施してきました。史跡公園の公開も進み、これまで多くの方々にご来園いただいております。また、調査で出土した資料はその価値の高さから平成22年に国の重要文化財に指定されています。これらの資料の保存と、遺跡とを合わせた活用を今後とも図っていく所存であります。

多くの方のご協力のもと、これまでの継続的な発掘調査により遺跡の中心部と考えられてきた堀に区画された内部の範囲の発掘調査が進展してきました。本報告書は岩手県教育委員会が実施してきた遺跡堀内部に関わる内容確認調査を中心にその調査成果をまとめるものです。

最後に、発掘調査の実施と報告書作成に当たり、ご指導・ご協力を賜りました平泉遺跡群調査整備指導委員会の先生方、文化庁記念物課、（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、平泉町教育委員会、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所をはじめ関係各位に深く感謝申し上げますとともに、本書が平泉文化研究発展の一助になれば幸いです。

平成30年3月

岩手県教育委員会

教育長 高橋 嘉行

例 言

1. 本報告書は柳之御所遺跡の堀内部を中心とした内容確認調査の発掘調査報告書の図版編である。本報告書は本文編と図版編で構成される。なお、本書では2条の堀及びそれに囲まれた範囲を「堀内部地区」と呼称する。
2. 本書には柳之御所遺跡の解明及び整備に係る資料を得ることを目的に、国庫補助事業として岩手県教育委員会が主体となって実施した調査の成果を掲載した。調査一覧等は本文編に掲載するが、柳之御所遺跡堀内部に関わる調査の大まかな区分は下記のとおりである。なお、この他に平泉町教育委員会による住宅等の小規模開発への対応に伴う調査などがある。

調査目的	調査回数	調査主体（調査当時）
学術調査	1～10	平泉遺跡調査会
緊急調査	21・23・28・31・36・41	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
範囲確認調査	37・38・42	岩手県教育委員会・平泉町教育委員会
内容確認調査	47・48・49	岩手県教育委員会
内容確認調査 (本書の主な対象)	50・52・55・56・57・59・64・ 65・68～70・72～79	岩手県教育委員会

3. 本書にかかる発掘調査については平泉遺跡群調査整備指導委員会(旧 柳之御所遺跡調査整備指導委員会)の指導と承認のもとに行なっている。
4. 出土遺物及び遺構の整理等は各次調査における概報作成時に各次の調査担当者が行なっているが、本書作成に際して内容の再確認と一部の整理を行なったものである。したがって掲載写真や図の作成の基本となる資料は、これまでの岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課柳之御所担当の職員による整理に基づくものである。過去の調査整理の主担当及び職員体制は本文編に記載する。
5. 本図版編は以下の図版等で構成される。
 - 1) 遺構配置図全体図
 - 2) 遺構平面図(1/200)
 - 3) 遺構平面図抜粋(1/300・1/400)
 - 4) 堀跡・池跡遺構平面図
 - 5) 遺構写真
 - 6) 遺物写真
 - 7) 図(2)(1/300平面図ほか3葉、別冊封筒挿入)
6. 遺物実測図及び遺物写真は既に各年次刊行の発掘調査概報に掲載しており、本報告書では主要なものを抜粋し、本文編及び図版編にそれぞれ掲載する。かわらけ等の土器類の図の多くは概報を参照されたい。
7. 本報告書は、柳之御所担当職員の協議と検討のもと、木村路子・阿部めぐみが図版作成を補佐し、櫻井友梓が執筆・編集した。
6. 本報告書作成に係るデータや図版等は岩手県教育委員会が保管している。

凡 例

1. 本書で用いた遺構の呼称は、調査時に付した名称を基本とするものである。遺構名の記載については遺構略号の前に調査次数を付してある。なお、複数年次にわたる調査で明らかに同一と認定できる遺構については当初の調査時の遺構名を継続して使用した。その際、昭和63年度に(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(現(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター)が実施した調査時の方法に準拠し、下記の略称を使用し、本書でも記載している。

S A : 堀・柱列 S B : 掘立柱建物 S C : 道路状遺構 S D : 溝・堀 S E : 井戸・井戸状遺構
S G : 園池 S K : 土坑・柱穴の一部 S X : その他 S I : 堅穴遺構 P : 柱穴

例 : 21SK1 第21次調査の第1号土坑

2. 平面図では複数の次数の調査範囲が重なるものについては、最終次調査の図面を基本に編集・合成を行なっている。ただし、本来の遺構形状が埋め戻しまでの期間での崩壊などの不測の事態により変化したと見なしうる場合などは、本来の遺構形状や調査当初の情報を反映して図化していると考えられる次数の図面を採用している。

3. 調査次数の差異や同一調査時でも様々な要因により遺構の線表現が連続していない場合、同一と見なしうるものなどは原図等から補正を行なったが、判断ができないものは原則として線の補正を行っていない。そのため、例えば同一の溝とみられるものでも線が不連続になっているものなどもある。ただし、これらの多くは時期不明の遺構などで、遺跡の評価や検討に大きな影響は及ぼさないものと判断できる。

4. 本書の主な対象は上述のとおり国庫補助事業による内容確認調査だが、同一の遺構が連続する部分など一部、緊急調査時等の図面を合成して作成している。それに際しての補正内容も上記2・3のとおりである。

5. 遺構の埋土観察、遺物の色調観察に際しては『新版標準土色帖』を参考にした。

6. 遺構及び遺物写真図版に掲載した写真は各年次刊行の概報に掲載されたもの及びその後の整理事業等で作成したものである。

7. 遺物写真図版においては各調査時ごとに割り振られている登録番号を遺物番号として記載した。

8. 遺構図の縮尺は各図に示した。遺構及び遺物写真は縮尺不定である。

9. 柳之御所遺跡の調査では、遺構の測量や遺物の取り上げなどの作業に際し基準となるグリッドを、(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが1988年からの緊急調査に際し平泉町教育委員会と協議のうえ設定している(岩手県埋蔵文化財センター1995)。平面直角座標第X系(旧日本測地系(T.D.))をもとにした5×5mグリッドで、柳之御所遺跡の遺跡範囲(堀内外部を包括する周知の埋蔵文化財包蔵地)の北西端辺りが原点(0,0)となる。南北方向の基準線に対して真北は西に0°11′振れる。柳之御所遺跡内での継続調査においては1988年以来進めているグリッド内での位置を示すことが調査研究の継続上有効と考えており、従来の局地座標で行っている。本報告書での記載も原則としてこの局地座標値で記す。なお、基準の座標値は設定時の旧日本測地系(T.D.)で下記のとおりである。

(50,50) X座標:-111,870.000、Y座標:24,930.000

(100,100) X座標:-112,120.000、Y座標:25,180.000

柳之御所遺跡調査における記載では、49次調査まではグリッドの呼称をX座標方向、Y座標方向の順に記載していたが、50次調査以降、その順を逆転させY座標方向、X座標方向の順で呼称・記載されている。混乱を最小限にとどめるため、本書においてもこれに基づき、たとえば66-70(Y-X)グリッドならばX軸方向が70、Y軸方向が66を示している。

また、本遺跡では大規模な調査の開始以降に宮城県東部地震(2008年)や東日本大震災(2011年)の影響により、大きな地形の変動を受けており、その後に行った再測量において当遺跡内での座標変動とその数値を改めて確認している。その変動値の参考として、遺跡内に配置した測量の座標値を下に示す。変動値をみるとそれぞれ変動が確認できるが、遺跡全体が概ね同じ距離や方向といった同様の变化を示しており、遺跡範囲といった比較的狭い範囲での相対的な位置関係には大きな変化はみられない。このことから遺跡内での局地座標を継続して用いることが可能であると判断している。

		基準点座標値 (旧日本測地系)	参 考	
			世界測地系(J.G.D2000)	世界測地系(J.G.D2011)
岩教委NO.1	X	-11203.591	-111728.332	-111729.742
	Y	25022.588	24722.240	24724.980
岩教委NO.2	X	-112151.906	-111843.647	-111845.063
	Y	25179.171	24878.824	24881.572
岩教委NO.3	X	-112085.860	-111777.601	-111779.014
	Y	25079.862	24779.514	24782.259
岩教委NO.5	X	-111882.041	-111573.783	-111575.201
	Y	25048.864	24748.514	24751.258
岩教委NO.6	X	-111949.196	-111640.938	-111642.353
	Y	25001.637	24701.289	24704.031
岩教委NO.7	X	-111795.662	-111487.405	-111488.820
	Y	24892.200	24591.851	24594.586

10. 図版編の標記は下記のとおりである。

遺構(12世紀・時期不明)	—————
推定線
近世	┌ 溝 └ 建物
ベルト等	
攪乱	┌ ┌ ┌

11. 遺跡は2回にわたる大規模な災害の影響を受けており、特に東日本大震災の影響により遺跡内の標高も遺跡範囲全体で約15cmほどの沈下が確認できる。これらの変動もあり、図版編の全体図には等高線を入れていない。個別遺構の標高値は本文編に掲載する個別遺構の図面等において、調査時の記載に基づいて掲載し、修正が可能もしくは必要な場合は適宜挿入する。

12. 本書に関連する主な既刊の報告書は下記のとおりである。

編 著	年次	書 名
(財)岩手県文化振興事業 団埋蔵文化財センター	1995	『柳之御所跡』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財発掘調査報告書第228集
岩手県教育委員会	1993	『平泉遺跡群範囲確認調査-第37次柳之御所跡発掘調査報告書』岩手県文化財調査報告書第94集(以下、岩文とのみ略す)
岩手県教育委員会	1994	『平泉遺跡群範囲確認調査-第42次柳之御所跡発掘調査報告書』岩文第96集
岩手県教育委員会	1998	『柳之御所遺跡』『岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成9年度)』岩文第103集
岩手県教育委員会	1999	『柳之御所遺跡-第47・48・49次発掘調査概報』岩文第104集
岩手県教育委員会	2000	『柳之御所遺跡-第50次発掘調査概報』岩文第107集
岩手県教育委員会	2001	『柳之御所遺跡-第52次発掘調査概報』岩文第111集
岩手県教育委員会	2002	『柳之御所遺跡-第55次発掘調査概報』岩文第113集
岩手県教育委員会	2003	『柳之御所遺跡-第56次発掘調査概報』岩文第117集
岩手県教育委員会	2004	『柳之御所遺跡-第57次発掘調査概報・猫間が淵跡発掘調査報告・第1・2次内容確認調査総括報告書』岩文第118集
岩手県教育委員会	2006	『柳之御所遺跡-第59次発掘調査概報』岩文第121集
岩手県教育委員会	2007	『柳之御所遺跡-第64次発掘調査概報』岩文第123集
岩手県教育委員会	2008	『柳之御所遺跡-第65次発掘調査概報』岩文第125集
岩手県教育委員会	2009	『柳之御所遺跡-第68次発掘調査概報』岩文第127集
岩手県教育委員会	2010	『柳之御所遺跡-第69次発掘調査概報』岩文第130集
岩手県教育委員会	2010	『柳之御所遺跡-第1期保存整備事業報告書』岩文第131集
岩手県教育委員会	2011	『柳之御所遺跡-第70次発掘調査概報』岩文第133集
岩手県教育委員会	2012	『柳之御所遺跡-第72次発掘調査概報』岩文第135集
岩手県教育委員会	2013	『柳之御所遺跡-第73次発掘調査概報』岩文第137集
岩手県教育委員会	2014	『柳之御所遺跡-第74次発掘調査概報』岩文第140集
岩手県教育委員会	2015	『柳之御所遺跡-出土資料(重要文化財指定品)目録』岩文第141集
岩手県教育委員会	2015	『柳之御所遺跡-第75次発掘調査概報』岩文第144集
岩手県教育委員会	2016	『柳之御所遺跡-第76次発掘調査概報』岩文第147集
岩手県教育委員会	2017	『柳之御所遺跡-第77次発掘調査概報』岩文第150集
岩手県教育委員会	2018	『柳之御所遺跡-第78・79次発掘調査概報』岩文第153集

遺構図目次

図1 北東アジアにおける平泉の位置 (1/1,500,000) … 1	図43 遺構平面図⑳ (1/200) ……78
図2 遺跡位置図 (1/50,000) …… 2	図44 遺構平面図㉑ (1/200) ……80
図3 平泉の主要遺跡位置 (1/10,000) …… 3	図45 遺構平面図㉒ (1/200) ……82
図4 柳之御所遺跡周辺図 (1/4,000) …… 4	図46 遺構平面図㉓ (1/200) ……84
図5 柳之御所遺跡堀内部主要遺構図 (1/2,000) … 5	図47 遺構平面図㉔ (1/200) ……86
図6 柳之御所遺跡堀内部遺構配置図 (1/1,000) … 6	図48 遺構平面図㉕ (1/200) ……88
図7 柳之御所遺跡堀内部調査範囲図 (1/2,000) … 7	図49 遺構平面図㉖ (1/200) ……90
図8 遺構図区割り図 (1/1,500) …… 8	図50 遺構平面図㉗ (1/200) ……92
図9 遺構平面図① (1/200) ……10	図51 遺構平面図㉘ (1/200) ……94
図10 遺構平面図② (1/200) ……12	図52 遺構平面図㉙ (1/200) ……96
図11 遺構平面図③ (1/200) ……14	図53 遺構平面図㉚ (1/200) ……98
図12 遺構平面図④ (1/200) ……16	図54 遺構平面図㉛ (1/200) ……100
図13 遺構平面図⑤ (1/200) ……18	図55 遺構平面図㉜ (1/200) ……102
図14 遺構平面図⑥ (1/200) ……20	図56 遺構平面図㉝ (1/200) ……104
図15 遺構平面図⑦ (1/200) ……22	図57 遺構平面図㉞ (1/200) ……106
図16 遺構平面図⑧ (1/200) ……24	図58 遺構平面図㉟ (1/200) ……108
図17 遺構平面図⑨ (1/200) ……26	図59 遺構平面図㊱ (1/200) ……110
図18 遺構平面図⑩ (1/200) ……28	図60 遺構平面図㊲ (1/200) ……112
図19 遺構平面図⑪ (1/200) ……30	図61 遺構平面図㊳ (1/200) ……114
図20 遺構平面図⑫ (1/200) ……32	図62 遺構平面図㊴ (1/200) ……116
図21 遺構平面図⑬ (1/200) ……34	図63 遺構平面図㊵ (1/200) ……118
図22 遺構平面図⑭ (1/200) ……36	図64 遺構平面図㊶ (1/200) ……120
図23 遺構平面図⑮ (1/200) ……38	図65 遺構集中範囲平面図㊷ (1/300) ……122
図24 遺構平面図⑯ (1/200) ……40	図66 遺構集中範囲平面図㊸-2 (1/300) ……124
図25 遺構平面図⑰ (1/200) ……42	図67 遺構集中範囲平面図㊹ (1/300) ……126
図26 遺構平面図⑱ (1/200) ……44	図68 遺構集中範囲平面図㊺-2 (1/300) ……128
図27 遺構平面図㉀ (1/200) ……46	図68 遺構集中範囲平面図㉑ (1/300) ……130
図28 遺構平面図㉁ (1/200) ……48	図69 遺構集中範囲平面図㉒ (1/300) ……132
図29 遺構平面図㉂ (1/200) ……50	図71 遺構集中範囲平面図㉓ (1/400) ……134
図30 遺構平面図㉃ (1/200) ……52	図72 遺構集中範囲平面図㉔-2 (1/300) ……136
図31 遺構平面図㉄ (1/200) ……54	図73 遺構集中範囲平面図㉕ (1/300) ……138
図32 遺構平面図㉅ (1/200) ……56	図74 堀跡① (72SD1・72SD2) ……140
図33 遺構平面図㉆ (1/200) ……58	図75 堀跡② (72SD1・72SD2) ……142
図34 遺構平面図㉇ (1/200) ……60	図76 堀跡③ (21SD1・21SD2) ……144
図35 遺構平面図㉈ (1/200) ……62	図77 堀跡④ (56SD40) ……146
図36 遺構平面図㉉ (1/200) ……64	図78 池跡 (23SG1) ……148
図37 遺構平面図㊰ (1/200) ……66	
図38 遺構平面図㊱ (1/200) ……68	
図39 遺構平面図㊲ (1/200) ……70	
図40 遺構平面図㊳ (1/200) ……72	
図41 遺構平面図㊴ (1/200) ……74	
図42 遺構平面図㊵ (1/200) ……76	

遺構写真図版

図版 1	遺跡遠景 1・2	図版43	59次調査 4
図版 2	遺跡現景 1・2	図版44	57次・59次・64次調査
図版 3	調査遠景50次・52次	図版45	57次・59次・64次調査 2
図版 4	調査遠景55次・56次	図版46	57次・59次・64次調査 3
図版 5	調査遠景57次・59次	図版47	57次・59次・64次調査 4
図版 6	調査遠景64次	図版48	65次調査
図版 7	調査遠景65次	図版49	65次調査 2
図版 8	調査遠景68次・69次	図版50	68次調査
図版 9	調査遠景70次	図版51	68次調査 2
図版10	調査遠景72次・73次	図版52	69次調査
図版11	調査遠景74次・75次	図版53	69次調査 2
図版12	調査遠景76次・77次	図版54	69次調査 3
図版13	調査遠景78次・79次	図版55	70次調査
図版14	50次調査	図版56	70次調査 2
図版15	50次調査 2	図版57	72次調査
図版16	50次調査 3	図版58	72次調査 2
図版17	50次調査 4	図版59	72次調査 3
図版18	52次調査	図版60	73次調査
図版19	52次調査 2	図版61	73次調査 2
図版20	52次調査 3	図版62	74次調査
図版21	52次調査 4	図版63	74次調査 2
図版22	52次調査 5	図版64	74次調査 3
図版23	52次調査 6	図版65	75次調査
図版24	52次調査 7	図版66	75次調査 2
図版25	52次調査 8	図版67	75次調査 3
図版26	55次調査	図版68	76次調査
図版27	55次調査 2	図版69	76次調査 2
図版28	55次調査 3	図版70	77次調査
図版29	55次調査 4	図版71	77次調査 2
図版30	55次調査 5	図版72	77次調査 3
図版31	55次調査 6	図版73	78次調査
図版32	55次調査7	図版74	78次調査 2
図版33	55次調査 8	図版75	78次調査 3
図版34	55次調査 9	図版76	78次調査 4
図版35	55次調査10	図版77	79次調査
図版36	56次調査		
図版37	56次調査 2		
図版38	56次調査 3		
図版39	56次調査 4		
図版40	59次調査		
図版41	59次調査 2		
図版42	59次調査 3		

遺物写真図版

- | | | | |
|------|-------------------|-------|---------------------|
| 図版78 | 50次調査出土遺物 | 図版95 | 57次・59次・64次調査出土遺物 2 |
| 図版79 | 50次調査出土遺物 2 | 図版96 | 57次・59次・64次調査出土遺物 3 |
| 図版80 | 50次調査出土遺物 3 | 図版97 | 68次調査出土遺物 |
| 図版81 | 52次調査出土遺物 | 図版98 | 69次調査出土遺物 |
| 図版82 | 52次調査出土遺物 2 | 図版99 | 69次調査出土遺物 2 |
| 図版83 | 52次調査出土遺物 3 | 図版100 | 70次調査出土遺物 |
| 図版84 | 52次調査出土遺物 4 | 図版101 | 70次調査出土遺物 2 |
| 図版85 | 52次調査出土遺物 5 | 図版102 | 72次・73次調査出土遺物 |
| 図版86 | 52次調査出土遺物 6 | 図版103 | 74次調査出土遺物 |
| 図版87 | 55次調査出土遺物 | 図版104 | 74次調査出土遺物 2 |
| 図版88 | 55次調査出土遺物 2 | 図版105 | 75次調査出土遺物 |
| 図版89 | 55次調査出土遺物 3 | 図版106 | 75次調査出土遺物 2 |
| 図版90 | 55次調査出土遺物 4 | 図版107 | 76次・77次調査出土遺物 |
| 図版91 | 56次調査出土遺物 | 図版108 | 柳之御所遺跡出土資料 |
| 図版92 | 57次・59次調査出土遺物 | 図版109 | 柳之御所遺跡出土資料 2 |
| 図版93 | 59次調査出土遺物 2 | 図版110 | 土器変遷の概要 |
| 図版94 | 57次・59次・64次調査出土遺物 | | |

遺 構 図



図 1 北東アジアにおける平泉の位置 (1/1,500,000)

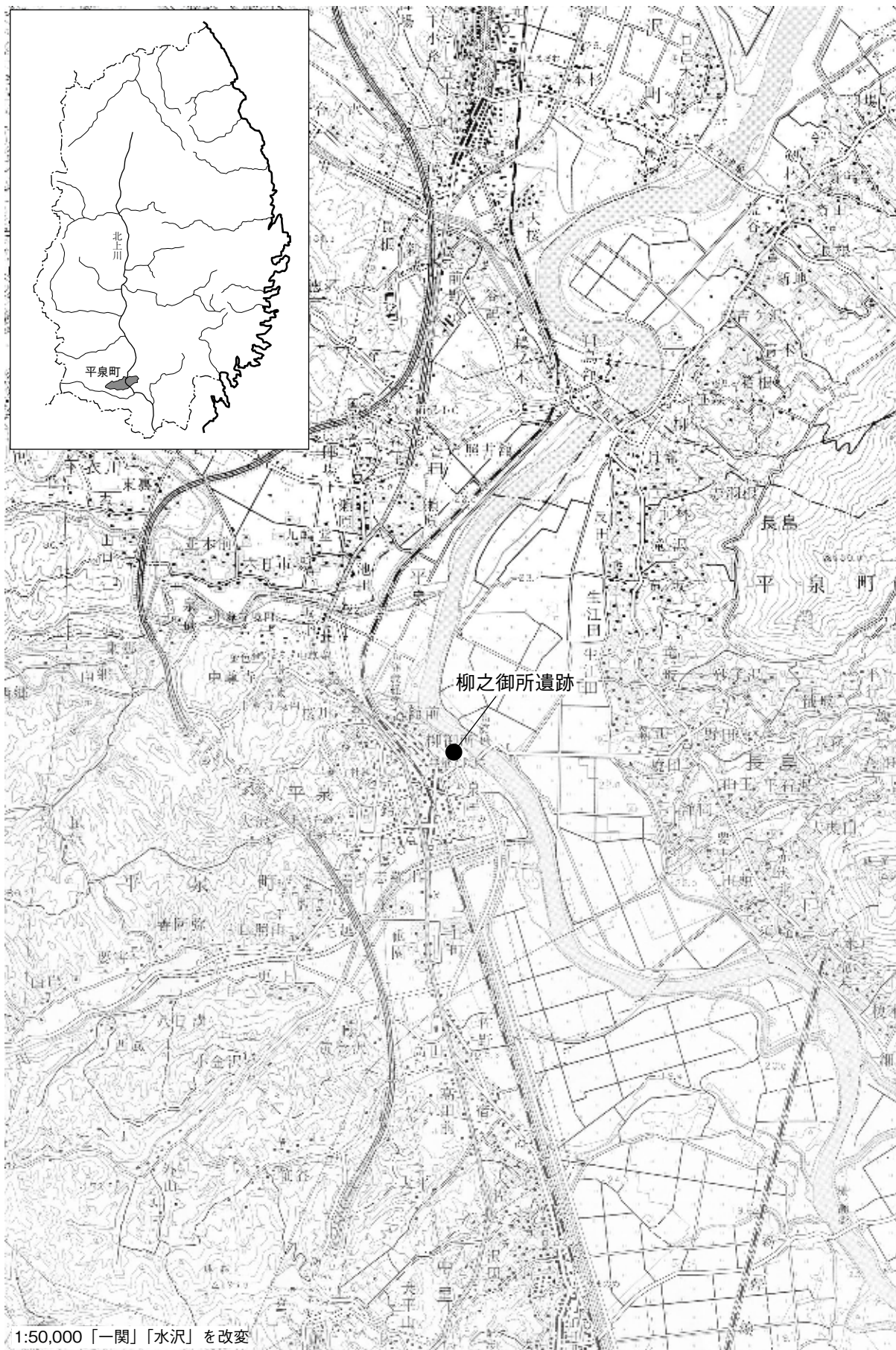


図2 遺跡位置図 (1/50,000)

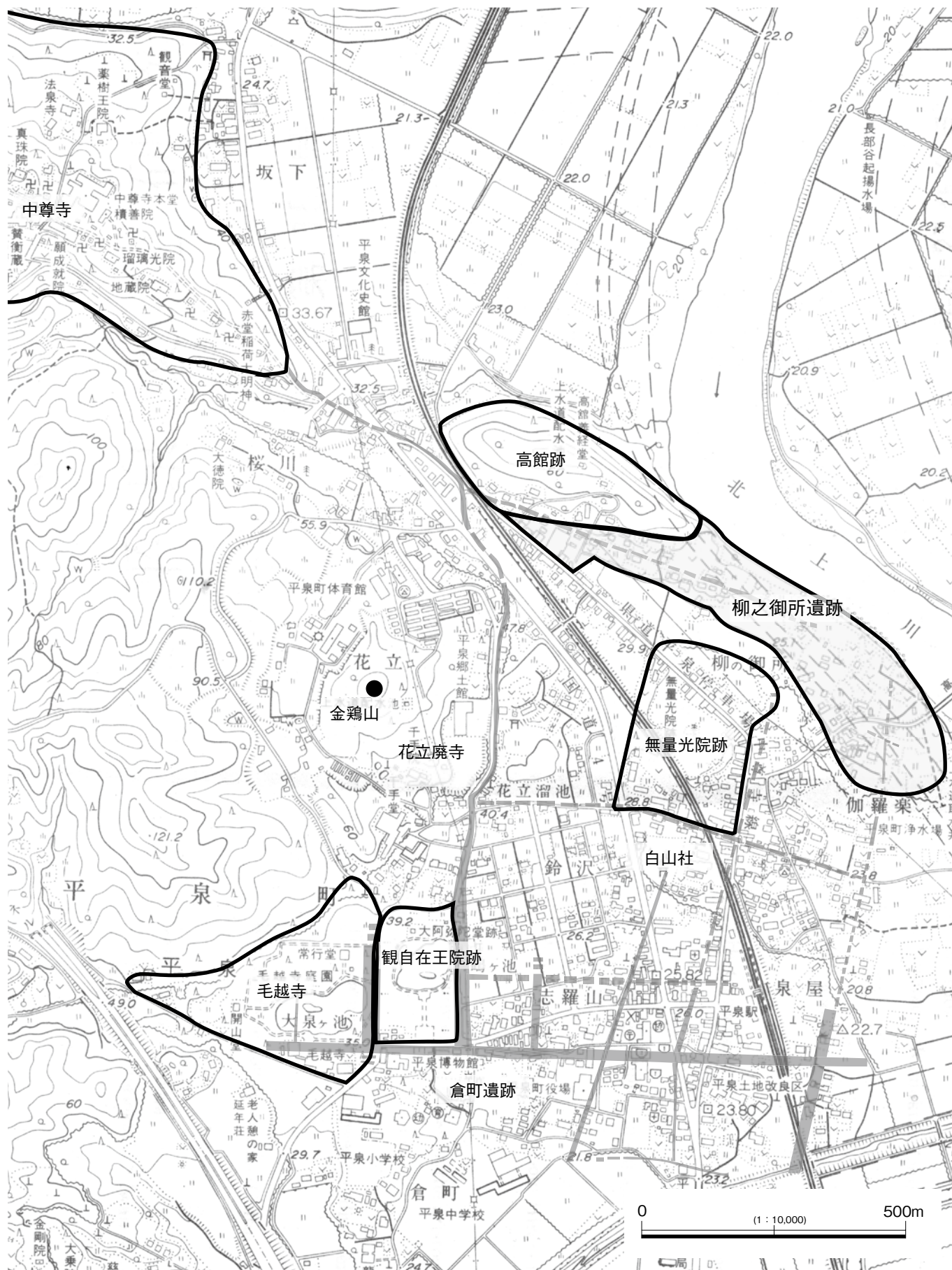


図3 平泉の主要遺跡位置 (1/10,000)



图 4 柳之御所遺跡周辺図(1/4,000)



图 5 柳之御所遺跡堀内部主要遺構図(1/2,000)



图6 柳之御所遺跡堀内部遺構配置図 (1/1,000)

0 (1:1000) 50m



図 7 柳之御所遺跡堀内部調査範囲図 (1/2,000)

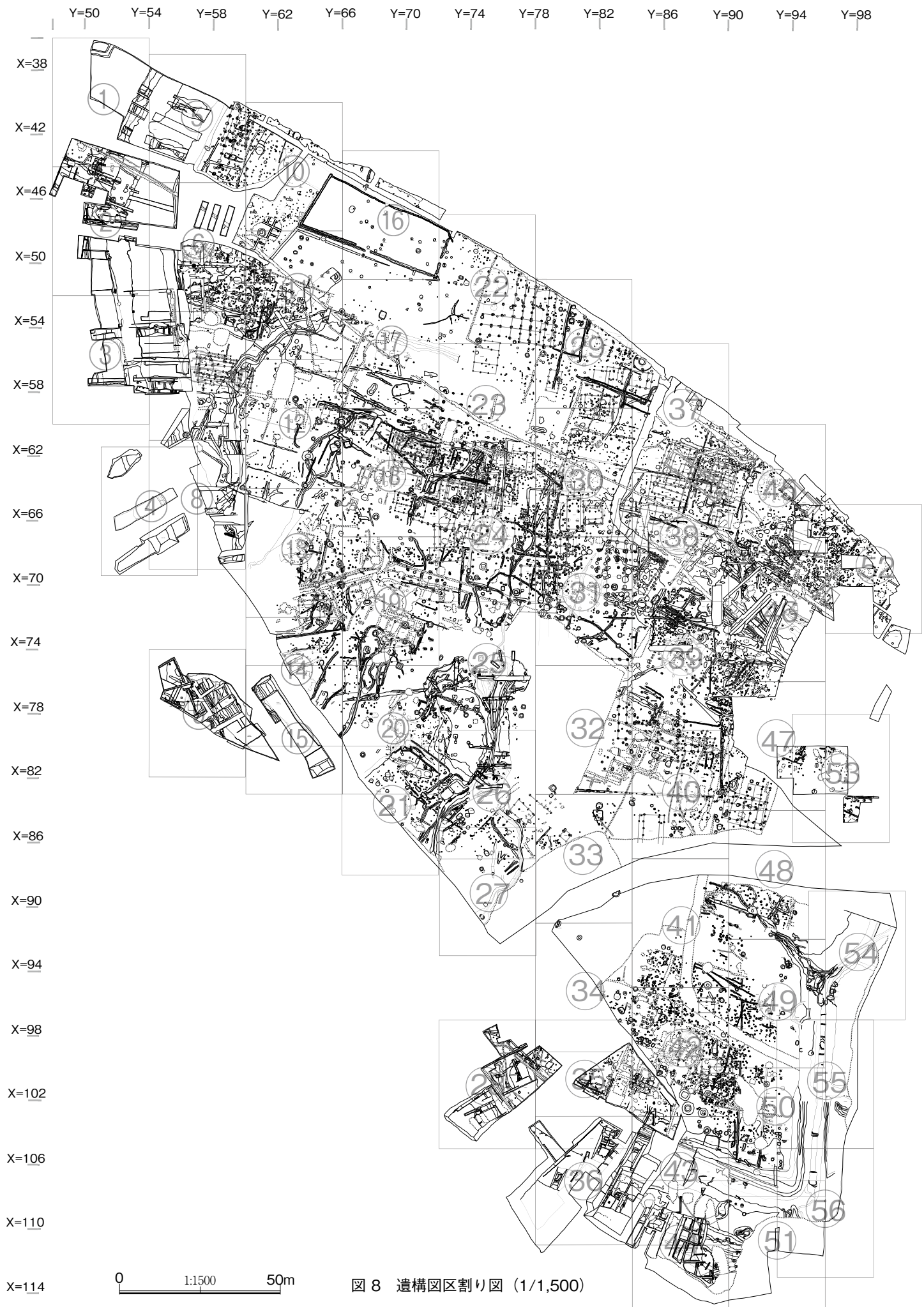
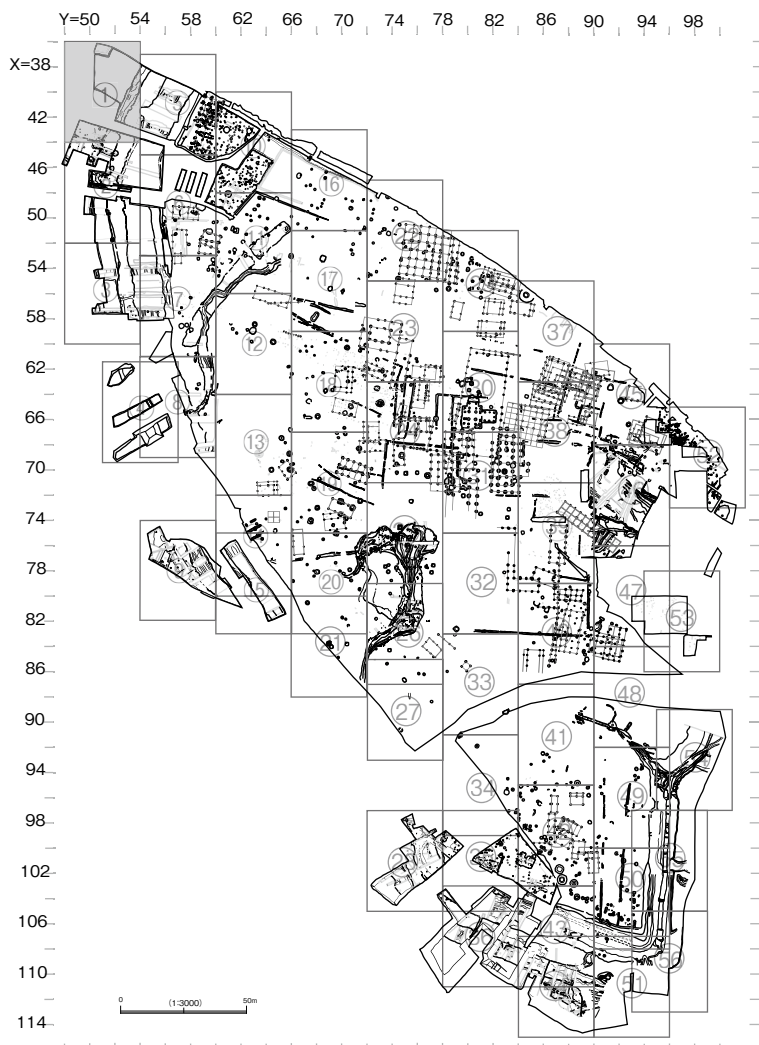


図 8 遺構図区割り図 (1/1,500)



1

Y=48

Y=50

Y=52

Y=54

X=36

X=38

X=40

X=42

X=44

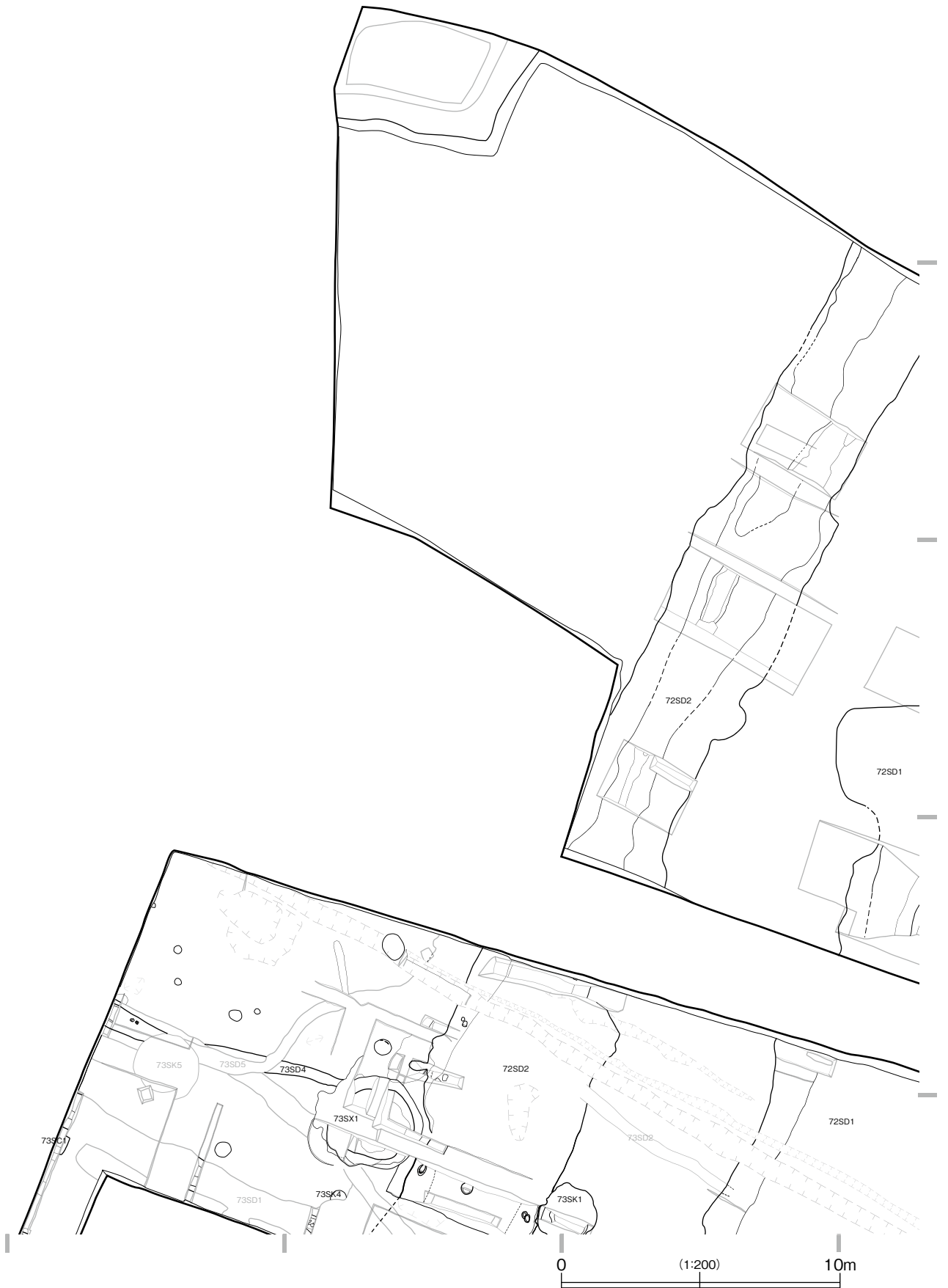
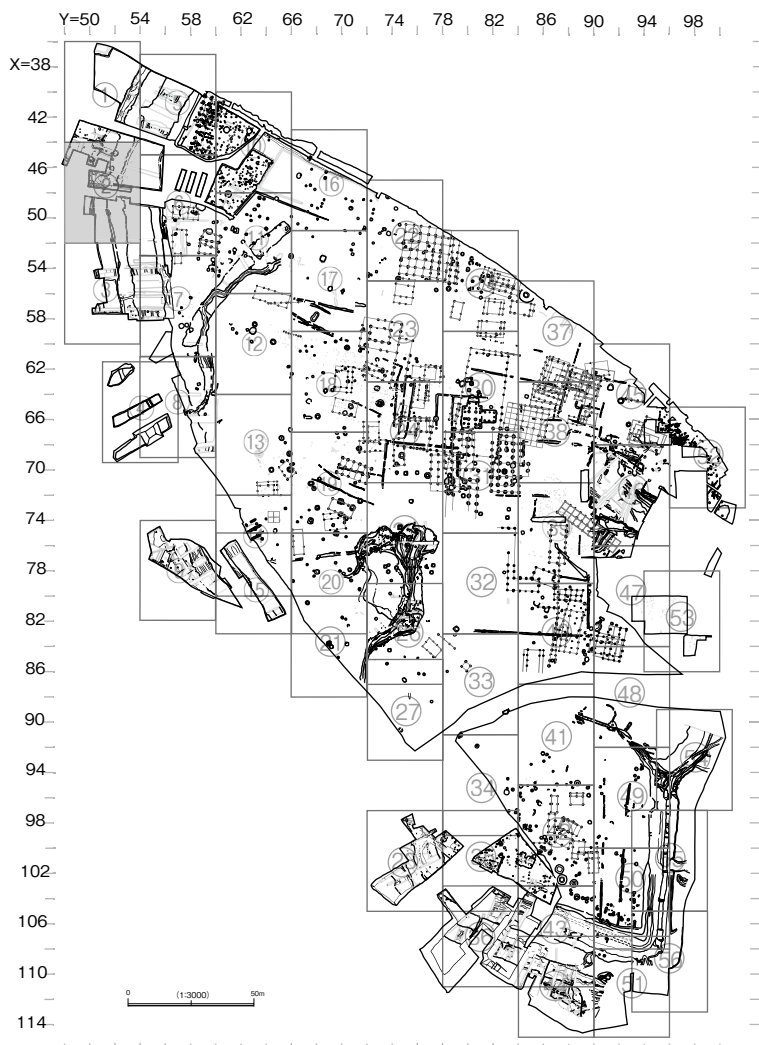


图 9 遺構平面図① (1/200)



2

Y=48

Y=50

Y=52

Y=54

X=44

X=46

X=48

X=50

X=52

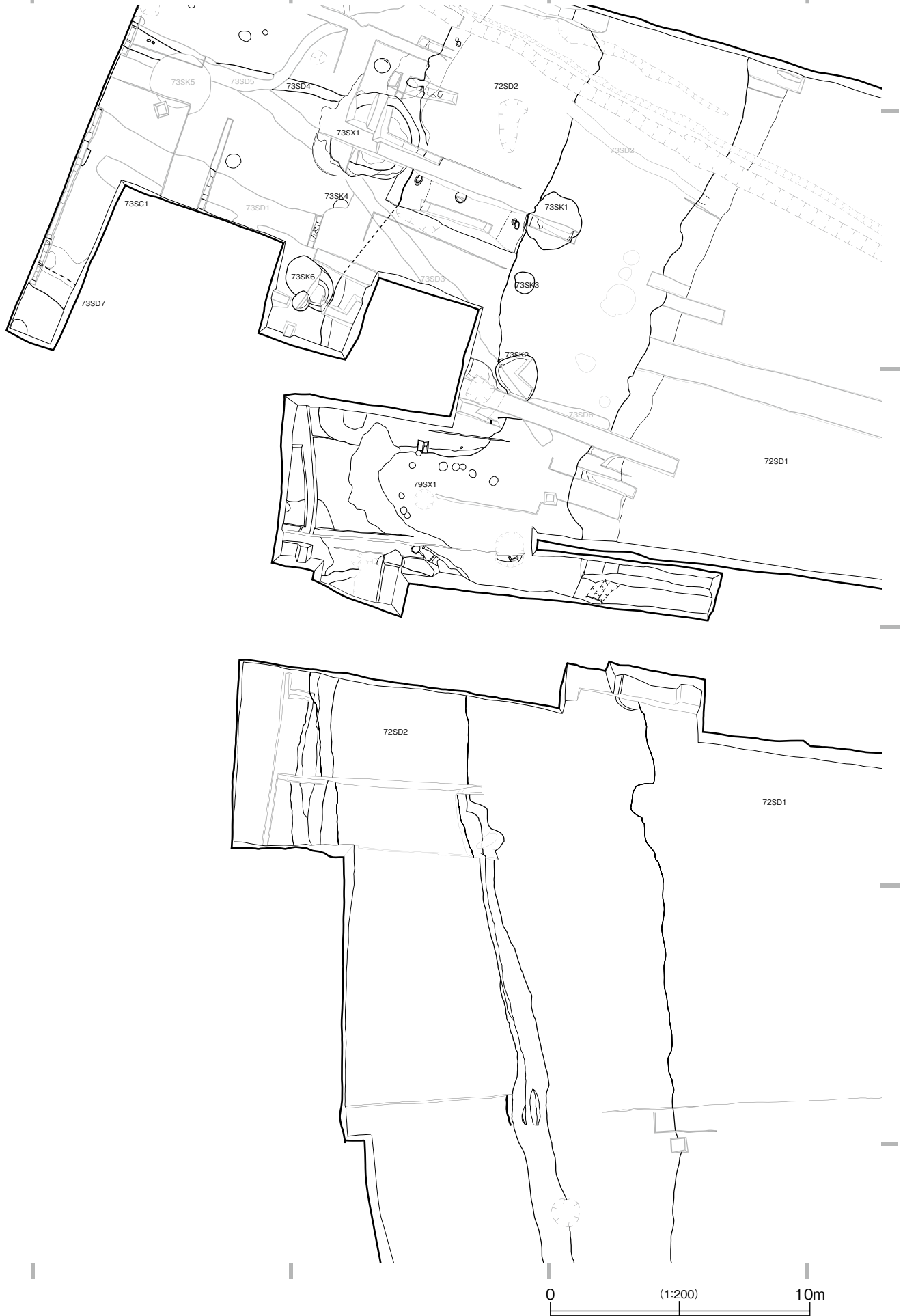
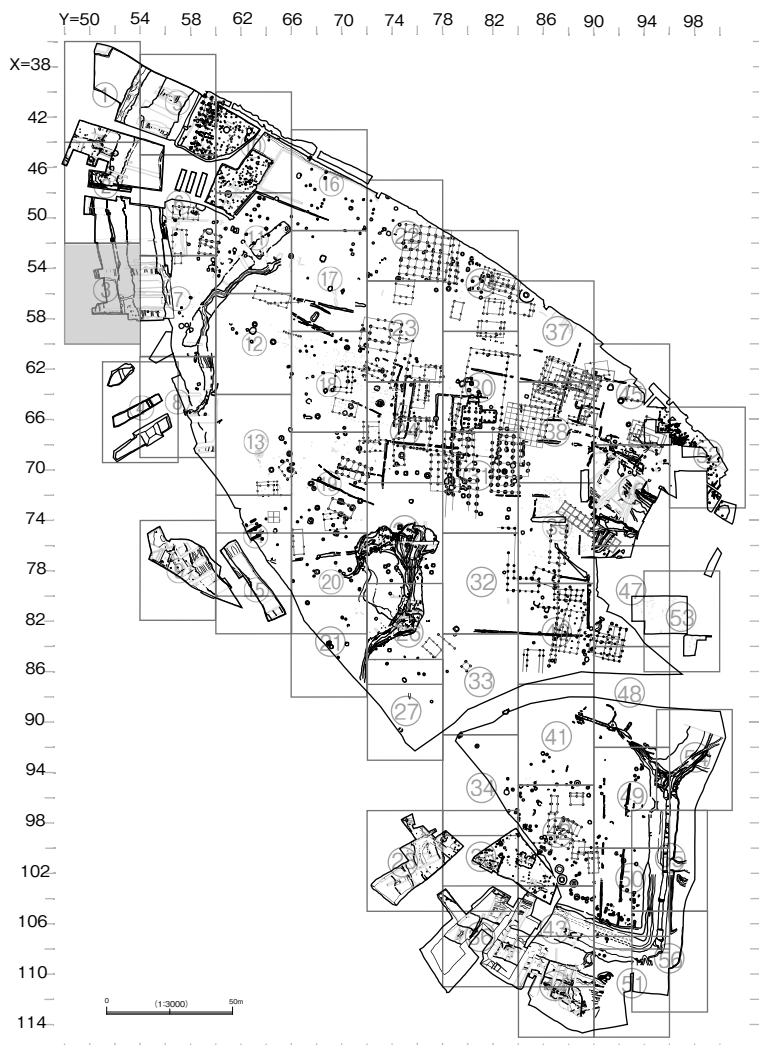


図10 遺構平面図② (1/200)



3

Y=48

Y=50

Y=52

Y=54

X=52

X=54

X=56

X=58

X=60

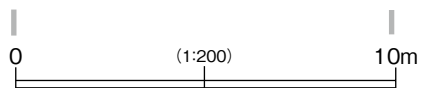
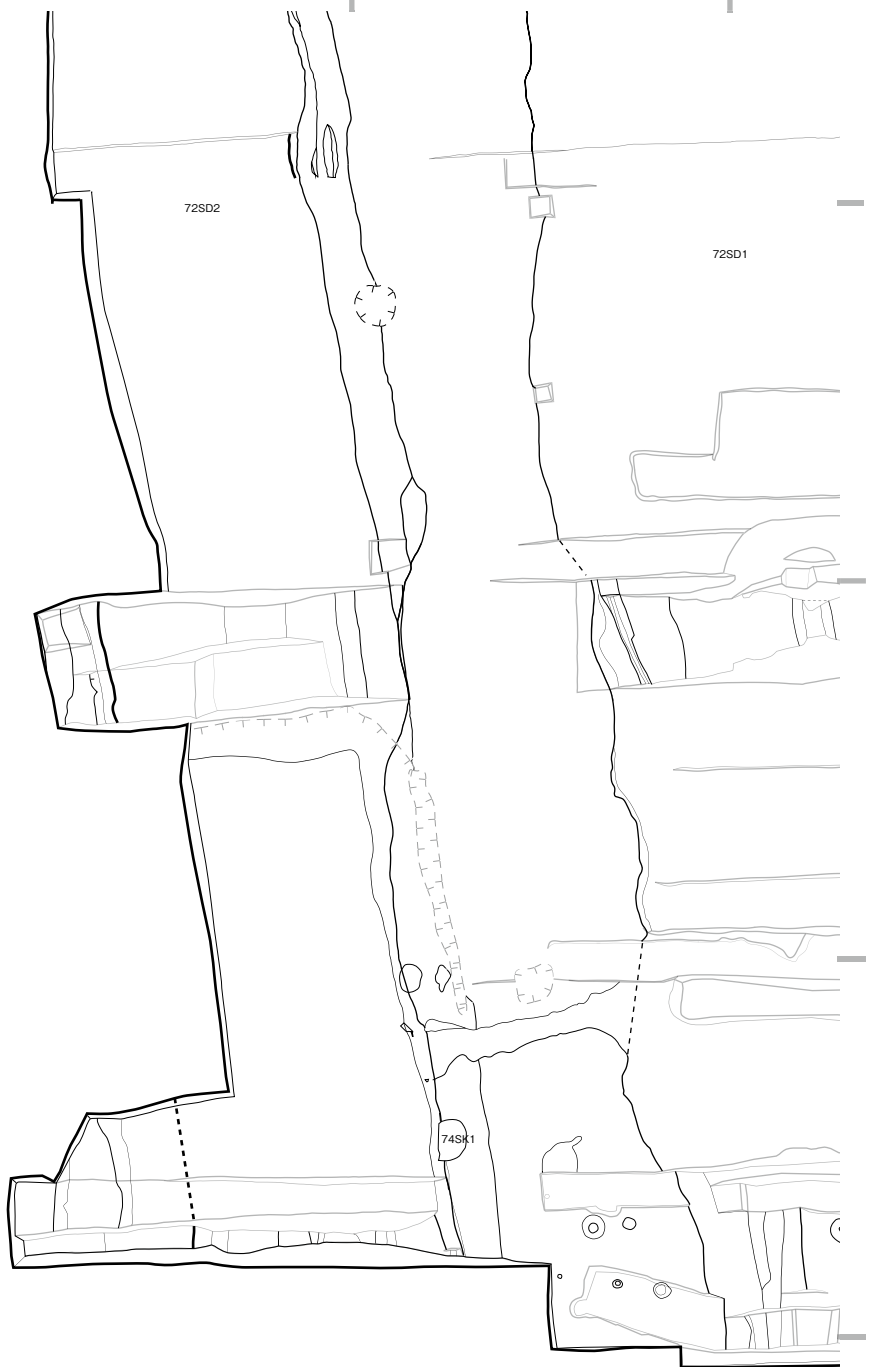


图11 遺構平面図③ (1/200)